

防災公園街区整備事業の事例

岩倉公園（大阪府茨木市）

～市民開放施設、園地の整備を実施、大学と一体となった景観を形成～

防災性向上

未利用地活用

市街地：建築敷地の整備

キャンパスと一体感のある空間形成

防災公園と立命館大キャンパスが融合して境界のない一体的な景観を形成したことで、地域にも開かれ、市民、学生たちの交流が活発に行われています。

避難地となる防災公園と市民開放施設を一体整備

防災公園には避難地・救護活動の拠点として機能する防災関連公園施設を整備し、公共公益施設には、多目的ホールや図書室、研究・産学連携施設のほか備蓄倉庫等の防災機能を有した市民開放施設が整備され、公園と一体として地域の防災・交流拠点となっています。



防災公園、市民開放施設、大学キャンパスが一体となったランドスケープを形成



市街地部分の店舗による賑わい



非常時にテント機能をもつ防災パーゴラ